

めくもりほっとぶれす

NUKUMORI HOT PRESS

発行 NPO法人傾聴グループ
めくもりほっとらいん
代表 山上 敏枝
〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30
TEL 070-4369-7269
FAX 043-214-8397
http://www.nukumorihotline.org/
編集責任者 吉野 秀子



8月11日、めくもりほっとらいんに7名の新しい仲間が加わった。

コロナ禍の影響で受け手養成講座が年度を跨ぐ形での開催となり、緊急事態宣言中の認定式実施と、例年とは異なる式となった。

冒頭、山上理事長が「めくもりほっとらいんの受け手として認定を受けられるみなさん、おめでとうございます。」

お迎えする古株の私たちも新しく入られた方から学ばせていただくことも多く、お互いに育ち合う関係で、私たちには先輩後輩ということばはありません。

今日から、めくもりほっとらいん17年目の新しい一ページと一緒に作ってまいります」と、挨拶をした。

一人一人に認定証が手渡され、めくもりの仲間となった受け手が誓いのことばを読み上げた。(本紙3ページ記載)

また、事情により一時活動から離れていたメンバーが受け手復帰となり「当時の私は、良い質問をしなければもつと深まる質問をしなければ！と焦っていました。」

何年もやっているのにこんな聞き方しかできないなんて恥ずかしいと、足かせをはめ自分を厳しく監視していました。その時は必死にやってきましたのですが、今思うと、あの頃の私は自分のことで精一杯でした。

しかし、今は、問題や悩みを解決する答えは、掛け手自身が持っているということをお忘れずに、電話の向こう側で話をする、掛け手その人のことをまずは知りたいたいと思っています。掛け手と適度な関係を築ける受け手を目指していこうと思いま

す」と当時をふり返り、再スタートの思いを語った。これを受け、現受け手から「めくもりには、気

をつかわなければいけないような偉い先輩は居りません。一年も経てば誰が先輩で誰が後輩なのか分からなくなりませう。そんな不思議の国、めくもりによろこ。これから一緒に傾聴出来る人を目指して頑張っていきましょう」と歓迎のことばが伝えられた。

最後に、入門講座から受け手養成講座までの講座を主導してきた渡邊名譽理事長が改めて歓迎のことばを述べ、厳かなながらもあたたかい雰囲気の中で認定式が終了した。

先輩後輩ではなく、共に傾聴を学ぶ仲間として研修を重ね、掛け手に寄り添う受け手を目指していきたくと心新たにしたい一日であった。



認定式終了後マスクをして記念撮影

受け手 10期生アンケート

現時点で活動をしている5名の新受け手に自身のことばを聞いてもらいました。

設問①自分を動物に例えると？その理由は？
設問②めくもりの受け手になろうと思ったのはどうしてですか？

設問③認定前の入門講座、受け手養成講座はコロナもあり大変だったと思いますが、二つの講座はどうでしたか？
設問④メンバーになって受け手や研修に参加されていますがめくもりの雰囲気はどんな感じですか？



《画：S・K》

不安は特にありませんでした。不安があったとすれば、感染者が多い時の会場までの交通機関でした。

設問①

犬 はるか昔の高校時代に「あなたの目は犬のようだ」と言われたのと、自分の性格が犬のように落ち着きがないところがあるのだ。
設問②

人のお話を聴かせてもらうのは好きだなあと以前から思っていた事と、仕事を辞めた自分に何か出来ることがあればと思ったのだ。
設問③

講座では、検温・消毒・換気にいつも気をつけて頂いていたので、コロナの不安を感じていません。